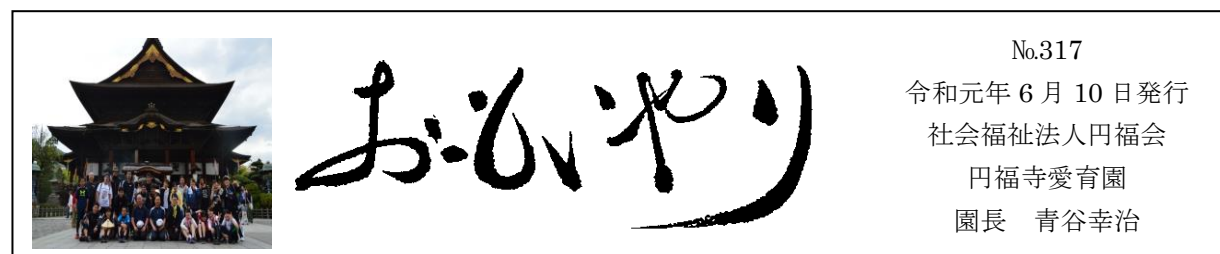


辛くても声を掛け合いながら、善行寺までの30キロの道のり歩きました。「歩くの楽しい！」



## 頑張っている職員達

理事長 藤本光世

職員の姿を間近に見る機会が増えました。

しばらく間が空いたので、職員の成長が目に見えてわかります。全員の養育力が増していることを感じます。そして、みんな一生懸命です。私の話を聴く目に真剣さが伝わってきます。私も一生懸命になります。そして誰もが労を惜しまず子どもたちのために尽くしてくれています。日々の関りの様子からそれがわかります。嬉しいです。

ある職員は、逞しく体重が増していました。顔に肉がついて、貫禄が出ました。顔つきも厳しくなりました。太ったねと話すと、4キロほど太りましたと答えが返ってきました。走っていますかと聞くと、走りますがタイムは落ちました、と。年長児に本気になって関わってくれています。トラブルもあるのですがそれを厭わず、三年目の自覚をもって仕事をしてくれています。ありがたいです。その粘り強さの裏に、体重増による強さがあるのかなあと思いました。もちろん精神的にも成長していますよ。

ある職員は、子どもにいろいろと言われても、それを乗り越えて、いやな顔を見せずに、関わってくれています。本当は大変だと思います。やられてしまっただけ関われない子もいます。でも、子どもの問題行動の発見にこの職員の名前が上がります。小さなことを見逃さず関わってくれていることが嬉しいです。ハインリッヒの法則と同じで、小さな悪の芽を見逃さないで指導することがとっても大切です。それをしてくれていることが有難いのです。朝夕の引継ぎにも、子どもとのかかわりをたくさん報告してくれます。仕事をしてくれているなあと思い、嬉しいです。

ある職員は、一番難しい年長児と対話をしてくれます。ホーム長がいない時に、ホーム長と心を一つにした振り返りをしてくれます。それが適切であることが引継ぎの報告から分かります。こうして、年長児をしっかり指導できることが、年少児の指導となっています。成長したなあ、嬉しく思います。

子どもたちは、みんな何らかの課題を抱えています。笑顔で毎日を送っているように見えても、その裏に大きな課題が心にしまわれていることがあります。それが大きく噴出さないように、いつ

(令和元年6月10日発行 月刊「円福」464号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

も注意して対話する。聴いてあげる。表情やしぐさや子どもとのかかわりを注意して観ている。帰園時の様子で、学校での様子を見抜く。そして、子どもの課題を心に置いて対話する。指導する、振り返りをする、そんなことができる職員は凄いです。本当にうれしいです。

心の課題をもろに表面に出す子もいます。それは、反抗や暴言や職員への攻撃などの形となって表れます。生活の乱れ、日課のずれ、服装の乱れ、言葉遣いの乱れに表れます。私たちができることは対話だけです。粘り強い対話、経験を積み重ねて粘り強い対話ができる職員になって欲しいと願っています。話してくれるまで黙って向き合うことも対話です。エネルギーが要ります。

園長、ホーム長は職員の先頭に立って、一番難しい仕事を全力で引き受けてくれています。毎日の引継ぎの報告で、それが良く解ります。どのようにかかわっているかが分かります。その仕事ぶりやかかわり方は大したものだと思います。本当に有難いです。子どもたちはきっと生き生きと毎日を過ごし、良くなります。見ていてください。

## GW 行事 伊香保グリーン牧場

あおぞらホーム 近藤誠志郎

今年のGWは元号が『平成』から『令和』に変わることによって祝日が増え、10連休となりました。その連休を利用して、5月3日(金)に子どもたちと群馬県にある『伊香保グリーン牧場』にお出かけしてきました。当日は半袖のシャツでも過ごせるほどの気温となりました。車で2時間程かけて移動し、到着したらまずは体験コーナーに行きました。バター作り、乗馬体験の二つから子どもたちがやってみたいことに分かれての行動となりました。バター作りでは牧場の新鮮な牛乳を材料にしました。お店の人の丁寧な教え方のおかげであっという間にバターをつくることができ、パンに塗って美味しくいただきました。乗馬体験では初めて乗る馬に怖さを感じながらも上手に乗りこなしている姿がありました。その後はヤギや羊たちにエサをあげたり触れ合ったりして、お昼前には『シープドッグショー』をみんなで見ました。シープドッグとは牧羊犬のことで、牧羊犬はトレーナーの言うことを聞き、何十頭という羊を数匹の犬の力でひとつにまとめて動かすことができます。トレーナーと牧羊犬が何十頭の羊をひとつにまとめる様子は圧巻で、子どもたちも真剣な表情で見入っていました。その後の羊との触れ合いコーナーでは、子どもたちは牧羊犬を真似して走り回っていましたが簡単には羊を動かすことは出来ず、牧羊犬はすごいなと話していました。お昼を食べた後は伊香保の温泉街を観光する予定でしたが、GW真っただ中であって車が大渋滞となり、急遽予定を変更して公園



で遊ぶことにしましたが、みんなで全力でした鬼ごっこも良い思い出となりました。また、みんなで出かけする日が楽しみです。

## GW 行事

まごころホーム 糸賀かなえ

GW 行事として、群馬県の伊香保グリーン牧場に行ってきました。朝早くに起きて準備し、朝食は車の中で食べました。片道 3 時間かけ、到着した後は班に分かれて、羊やヤギなどの動物にキャベツや人参などの野菜をあげることが出来ました。みんな最初は怖々あげていて、羊やヤギが野菜を食べようとすると怖くて手に持っていた野菜を落としてしまったりしていましたが、時間が経つにつれ、少しずつ慣れてあげることができました。その後は、バター作りと乗馬体験をしました。わたしは乗馬体験の班にいたのですが、当初予定していたポニーの乗馬は対象年齢が低く、今回は連れて行った子どもたちはみんな大きい馬に乗ることになりました。思ったよりも大きな馬を前にして、本当にちゃんと乗れるのかな？とちょっと不安そうな子もいましたが、最初に職員が見本として乗って見せ、他の子どもたちも順番に乗っていました。最初は緊張気味だった表情も 1 周して終わるころには良い笑顔を見せてくれるようになりました。おやつ休憩にアイスクリームを食べ、お土産を買いにお店に行きました。最後に見たシープドッグショーでは、牧羊犬使いの人が犬笛で牧羊犬に指示を出し、息のあった連携で多くの羊たちをどんどん移動させていき、みんなで拍手し



歓声をあげながら見入っていました。ショーの中で、羊の毛刈りも実演して見せてもらいました。短時間でどんどん刈られていき、最後は 1 つの繋がった毛の塊になっていて驚きました。ショーの後には、たくさんの羊や牧羊犬と触れ合える時間もあり、慣れてきたのかみんな怖がらずに触ることができていました。昼食後、近くの温泉街に行く予定でしたがとても渋滞していた為、予定を変更し帰りに大きな公園に寄って鬼ごっこや大きな滑り台などで楽しみました。自然の中で動物との貴重な触れ合いや体験ができ、思いっきり体を動かしたり、普段は遊べない遊具で遊べたりして、大満足の GW 行事になりました。



## 『牛にひかれて善光寺ウォーキング』

まごころホーム 竹内早季

GW最終日に戸倉上山田から善光寺までを歩く「善光寺ウォーキング」に参加しました。私自身 2 年ぶりの 3 度目の参加になり、久しぶりだったので歩ききれるか正直不安でした。当日は雨の予報でしたが、天候にも恵まれ早朝から晴れておりウォーキング日和でした。今回おおまかにまごころホームでも参加児童と職員をグループ分けして、私は新任職員 1 名と中 2 の A さん、今年初参加の中 1 の M さんと高 2 の S さんと同じグループで歩きました。中 2 の A さんは 2 度目の参加で、とても張り切っていました。初参加の 2 人は私の担当児童でもあったので、一緒に参加できることが楽しみでした。出発してからは様子見で、おしゃべりしながら歩いていたら、いつの間にか最後尾付近にいて、スタッフの人から「もっとペースをあげて」と言われてしまい、とても焦りました。やっと初めの休憩ポイントに着いたと思ったら全体の出発時間がすぐにきてしまい、行きつく間もなく、歩き出すことになってしまいました。ただ、そこからはグループ内でやる気に火が付き、「中間の位置をキープしよう」と決め、ペースを上げて一定になるよう頑張りました。途中、暑さと足の痛みで少々愚痴も出ましたが、それでも学校の話や好きなものの話、簡単なゲームをしながらなんとか気持ちを切らさず歩きました。最後の善光寺前の長い上り坂は本当に大変でしたが、ゴールできたときの達成感は格別でした。初参加の 2 人も最後まで本当によく頑張っていましたし、2 度目の A さんは去年よりも格段に早くゴールすることができ、とても嬉しそうでした。全員無事ゴールし、お土産を買ったりアイスを食べたりして楽しむこともできました。この達成感をまたみんなで味わえたらいいなと思います。

## 牛に引かれて善光寺詣り

まごころホーム 田中沙季

スタートは千曲市戸倉の温泉街から、善光寺を目指して約 30km を歩く『牛に引かれて善光寺詣り』に今年初めて参加しました。30km という長い道のりを歩くという経験もほとんどなかったため不安もありましたが、子どもたちは不安な様子もなく、「今年も先頭に行きたい!」「全然余裕!」ととても楽しみにしているんだと感じました。

当日スタート時には少し肌寒かったのですが、戸倉の温泉街を抜けて川沿いまで歩いてくると徐々に気温も上がっていき、汗ばむような暑さでした。しかし、子どもたちはまだまだ元気で、をしたり、歌を歌ったりしながら歩いていました。



川沿いを歩いている時に Y さんと話をしながら歩きました。学校のことなど様々なことを話しました。またお昼休憩の後は M さんとも歩きながら話しましたすでにかなりの距離を歩いていましたが疲れを感じさせない、元気な様子で趣味についてたくさん話していました。これまで Y さんや M さん一対一で話す機会があまりなかった私にとっては Y さんや M さんのことを知るととてもいい機会になりました。

長い道のりだと思っていましたが、いろんな話をしながら歩いていると思っていたよりもあっという間な 30km でした。子どもたちは時折、「もう疲れたー」と言うこともありましたが、「弱音言っちゃいけないだった!」とすぐに切り替えていたり、「もうちょっとで休憩だよ」とこちらを励ましてくれることもあり、子どもたちの頑張っているところや、思いやりがあるところなど様々な良いところを見ることができました。

#### 牛にひかれて善光寺参り

あおぞらホーム 倉島誠

5 月 30 日、園の中高生で「牛にひかれて善光寺参り」に参加してきました。戸倉上山田温泉・千曲市総合観光会館～国宝・善光寺までの約 30km の道のりを約 9 時間かけて歩きました。天候にも恵まれ、道中の緑の景色はとてもきれいで、気持ちがいいものでした。私は今回で二回目の参加でしたが、やはり 9 時間も歩き続けることは、厳しいところがあり、善光寺に着いた頃にはクタクタになってしまいました。その中でもやはり愛育園の子達は逞しく、全然平気という様子でした。私は、S 君や N 君と一緒に歩いていましたが、歩いていく中で、二人の学校の話や好きな歌、部活の話など普段話していることの倍近い話をする事ができ、二人のことがよく知れた旅となりました。道中、3 人で「いそうな外国人の名前を言う」というよくわからないゲームをしましたが、これが面白く、三人で盛り上がり笑ったのが印象に残っています。私は今回この行事の担当をさせていただきましたが、最後まで子ども達・職員合わせて 21 名が全員欠けることなく完歩出来たことがとても嬉しかったです。この長い道のりを歩ききったという経験をまた日々の生活の自信に繋げてくれたらと思います。



#### お花まつり

あおぞらホーム 山田忍

5 月 6 日お寺での地区行事「お花まつり」がありました。

当日はGW最終日であり、中高生達は善光寺ウォーキングに参加していた為お花まつりは小学生のみの参加になりました。園の子どもたちと地区の子ども達と保護者さん達とで各自お花を持ってお寺に集合の予定でしたが私も初めての参加であり何を持って行けばいいのか確認せずにいた為、直前になって花びらが必要な事を知り慌てて子ども達と園に咲いている花を摘みました、お寺ではいつもよりお経がゆっくりで途中わからなくなってしまう子ども達に「今どの辺?」と聞かれて「ごめん、先生もわからなくなりました」と言いながら冷や汗をかきました、お参りの後のおやつの中には甘茶も出て味が苦手な子も頑張って飲んでいました、楽しい時間を過ごせたのではないかと思います。



#### 母の日の会

まごころホーム 橋本雅

5 月 11 日に、母の日の会を開いて頂きました。子ども達から手作りのハーバリウムとメッセージの寄せ書きを頂きました。この日の為に、あおぞらの先生方と子ども達が一緒になって素晴らしいプレゼントを作って頂き本当にありがとうございました。

プレゼントを見ていると、子どもが寄ってきて「これ、作ったやつだ」とニコニコしていました。またメッセージには、「いつもありがとうございます、もっと沢山お話がしたい、沢山遊びたい、これからもよろしくお願いします」など沢山のメッセージが書かれていました。私自身、もっと子ども達と沢山お話したり遊んだり子ども達に寄り添いながら後押ししていきたいと思



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

ます。毎日必死になって子ども達を支えていきたいです。

素敵なプレゼントと母の日の会を開いて頂きありがとうございました。

松本山雅観戦

あおぞらホーム 金井雄大

今回、長野銀行さんの招待で、松本山雅 FC 対北海道コンサドーレ札幌の試合を観戦することができました。

生で見る松本山雅の試合は、テレビで見るよりも早く時間が過ぎ、あっという間の 90 分でした。試合中、子ども達は、松本山雅の選手がシュートを打ったら歓声を上げたり、モニターに表示されるリプレイを見たりしてそれぞれに楽しんでいました。また、松本山雅サポーターの応援歌を聞き、子ども達もわからないなりに歌って応援していました。帰園後、うろ覚えの応援歌を歌っている子どもの様子も見られました。

試合は 0 対 0 の引き分けでしたが、子ども達はとても楽しんでおり、「試合、惜しかったね」言っている子もいました。

また帰りの際、偽ガンズくんからブロマイドをもらった子どもがおり、とてもうれしそうにしていました。

貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。

禅の集い

まごころホーム 加藤ゆかり

毎年参加させて頂いている禅の集いに今年も小学生が参加させて頂きました。今年は、上田市にある長昌寺というお寺にお邪魔しました。坐禅をしたり、般若心経を唱えたり、精進料理を頂いたりしました。

坐禅は、経験したことのある子が多くいましたが、また改めて作法を教えて頂き、午前 20 分・午後 20 分坐禅をしました。経験しているだけあって、20 分間集中して坐禅することが出来ました。また午後の坐禅では警策（きょうさく）と言って、長い棒で右肩を叩いて頂く、という貴重な体験もさせて頂きました。お坊さん達は修行で坐禅を 40 分間やるようで、子ども達も驚いていました。

昼食には精進料理として、うどん・きんぴらごぼう・たくあんを美味しく頂きました。食べ終わった後には、器にお茶を注いで、たくあんで器をきれいにする、という体験もしました。みんな器をととても綺麗にすることが出来ました。

お坊さんたちが修行の中でやっている貴重なことを体験することが出来ました。帰りには大きな声で「ありがとうございました！」とお礼を言って来ることが出来ました。ご招待頂いた感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。

(令和元年 6 月 10 日発行 月刊「円福」464 号付録 昭和 52 年 5 月 25 日第三種郵便物認可)

よもぎ団子作り

まごころホーム 有賀真知

5 月 18 日に小学生みんなでももぎ団子作りをしました。2 チームに分かれて、こねるところから挑戦しました。高学年ほどこねる時の体重のかけ方や手つきがとても上手でした。順番にこねていると、だんだん生地が柔らかくなり、みんなで感触を楽しみました。こねた後は、一口サイズに丸めていきました。たくさんの生地を根気強く丸めることが出来ました。途中からは丸だけではなく、四角やハートにしてみる子もいました。とても楽しそうに取り組んでいました。丸めたものから順に茹で、茹で上がったらきなこことあんこをまぶして完成です。「固さが丁度いいね。」「おいしいね!」「これ、私が作ったやつだ!」と話ながら、美味しく食べました。後片付けまでみんなで協力してしっかり出来ました。

季節の食べ物を 1 から手作りするという、とてもいい経験が出来たと思います。



あおぞらホームだより

あおぞらホーム 石龍成己

暑い日が続いていますが、長いGW休みも終わり、6 月へ向けそれぞれが動き出しています。

6 月 1 日には、通明小学校で運動会があり、あおぞらホームの小学生 4 名も日々練習に取り組んでいます。集大成の学年となる A 君は、組体操の事を毎日楽しそうに話してくれます。今回、全ての技で上の担当になり、全てが見どころと話してくれます。しかし、成功するかどう



かよりも、演技が終わった後や、失敗したときに背筋を伸ばしてまっすぐ立って待っている姿に注目してほしいと話してくれました。さすが 6 年生の言葉だと思いました。真剣に練習している証拠だと思いますし、当日の演技が非常に楽しみです。

同じく 6 年生の B 君はリレーのメンバーに選ばれました。リレーの選手は、引き継ぎ等含め毎朝練習を行っていますが、B 君は毎日楽しみにてして登校しています。チームの雰囲気も良いようで、

一丸となって練習に取り組んでいるとのこと。B君はアンカー前を走るみたいですが、絶対に抜かれない事を意識し毎回走っているようです。6年生が頑張っている姿を受け、他の2人もたくさん運動会について話してくれています。私個人としても、去年はまだホームの子と出会ったばかりで、運動会を見ている、誰なのか気付いてあげることができない部分もありましたので、今回の運動会は励みになる言葉をかけつつ、盛り上げていけたらと思います。

中高生は、新学期になって初めてのテストを受けました。それぞれ点数の良かった教科を嬉しそうに報告してくれました。よく頑張った所、褒めています。しかし、できなかった所にあまり目を向けていなかった姿が、少し印象的でした。まだ新年度も始まったばかりで、テスト直しはしっかり取り組んでいく事、ホームでは子どもたちに伝えています。昨年と比べれば、全ての教科に苦手意識を持った子が多く、1つでも好きな教科が持てるようになったことは、大きな成長かと思えます。時間がかかることではあると思いますが、1つ1つ苦手意識をなくしていき、さらに成長してもらえよう、テスト直しも取り組ませていきたいと思えます。

日々暑さが増してきていますが、体調を気にかけてあげ、1つでも多く成長に繋がるような6月になるようあおぞらホームでは生活していきたいと思えます。

まごころホーム日より

まごころホーム 宮澤穂香

新学期が始まって早いもので二ヶ月が過ぎようとしています。梅雨入りを前に田んぼのカエルの鳴く声が大きくなり始めました。子どもたちも新しい生活に慣れてきた頃かなと思います。

この期間に子どもたちの成長を感じる事がたくさんありました。一つは初めて乳歯が抜けた子がいたことです。外で遊んでいるとき不意に抜け、子ども自身も戸惑っていましたが嬉しそうな表情でした。外だったので無くなってしまったかと思いましたが無事に見つかり、屋根に向かって投げることもできたということで、丈夫な歯が生えてくることでしょう。

もう一つは、小学校の運動会が6月1日と目前に迫っていますが、6年生が組体操の練習を園に帰ってから率先して行っています。『サボテン』は得意だということですが、『倒立』は初めの頃は全く出来ないようでした。それでも練習していくうちにだんだん足が上がるようになり、上手に



出来てきています。さらに、「腹筋10回やります」といって頑張っています。本番は緊張すると思いますが、うまくできるよういっぱい応援してきます。

こうした子どもたちの

成長を間近で見ることができ、嬉しく思います。

調理室日より

調理員 宮沢まき江

新年号〔令和〕となった5月!!

愛育園の子ども達は長いGWを各人が様々な行事に参加しながら元気に楽しく過ごしていました。

6日//創立記念日特別メニュー

11日//母の日の会特別メニュー

18日//春の風物詩とも言える「よもぎ団子」を小学生の子供達と作り、午後の全員のおやつとなりました。

14日//S君・23日//H君の誕生日メニューが加わりました。

一年に一度自分が食べたい、主食から副食、デザートまで考えたメニューを出してもらい、調理では希望が叶えられる様に普段にも増して、腕によりをかけ一生懸命作らせてもらう日です。

「いただきます」の前に、みんなの前で自分の夢と、それに向けて何を頑張っていくのかを発表してくれるのを聞く事がとても楽しみです。

是非ともその夢の実現を願ってやみません。

令和元年の初月に、これからも子供達が明るく、心安らげる場所でありたいと願います。

